

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

令和5年9月1日発行 No.6 - 1

文責：校長 山中 茂生



学校HPは
こちら



2学期スタート!

本日から2学期が始まりました。始業式では、元気な子どもたちの明るい笑顔を見ることができて安心するとともに、この笑顔をみんなが絶やすことがないよう、心理的安全性を確保しながら、さらに居心地の良い居場所としての羽津北小にしていこうという思いを持ちました。

2学期は、運動会や修学旅行、社会見学など子どもたちが楽しみにしている行事がたくさん予定されています。行事に限らず、日々の学校生活が子どもたちにとって学びの多い、素晴らしい日々になるよう全力で教育活動を進めて参ります。今学期も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2学期のおもな行事

9月5日(火)～7日(木)	校内作品展
9月30日(土)	運動会
10月11日(水)	三沓陸上記録会《6年生代表児童出場》(予備日13日)
10月26日(木)	観劇
11月1日(水)～2日(木)	6年生修学旅行
11月14日(火)～15日(水)	5年生自然教室
11月17日(金)	三沓音楽会《6年生出場》
11月21日(火)～24日(金)	オープンスクール
11月21日(火)	マラソン記録会(予備日24日)

～お願い～

◎教科書について

本日、1～5年生の児童のみなさんに、下巻の教科書を渡しました。

1年：国語、生活、図工 2年：国語、算数 3年：国語、算数、図工

4年：国語、算数 5年：算数、図工

名前を書く前に、汚れたり破れたりしたページがないか、**保護者の方で確認をしてください**。不具合のあったものは業者に交換を依頼しますので、**明日までに**学校へ届けてください。お手数をおかけしますが、よろしく申し上げます。

～着任のお知らせ～

教諭柴口可歩の産前休暇取得により、2学期から新たに講師山中伸吾(やまなかしんご)が着任しました。前任者同様、よろしく申し上げます。

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

令和5年9月1日発行 No.6 - 2

文責：校長 山中 茂生



学校 HP は
こちら



全国学力・学習状況調査～結果と分析～

今年度は、4月18日（火）に6年生が「全国学力・学習状況調査」（国語・算数）を実施し、子どもたち一人ひとりの学力の定着状況の確認とともに、教職員の指導方法の改善に役立てています。本校の調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。

【学力調査からみられる本校児童の特徴】

《国語科》 羽津北小 67%（全国 67.2%・三重県 67%）

○強み

- ・「知識及び技能」の項目の中の（言葉の特徴や使い方に関する事項）は、73.5%の正答率（問題数5問）で、全国（71.2%）三重県（70.7%）より高い結果となりました。
- ・漢字の書き・送り仮名の正答率が高く、「くらべる」の送り仮名においては、100%の正解率であったことから、基礎的な力は、今までの積み重ねにより身に付いていることが分かります。
- ・問題形式においては、「短答式」の正答率が高い結果となりました。

▲弱み

- ・「知識及び技能」の項目の中で、（情報の扱い方に関する事項）は57.8%の正答率（問題数2）で、全国（63.4%）三重県（62.7%）より低い結果となりました。原因と結果など情報と情報との関係を理解すること、情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方の理解が難しいことが分かります。
- ・「思考力・判断力・表現力等」の中で、（B 書くこと）は、22.9%の正答率（問題数1）で、全国（26.74%）三重県（26.0%）より低い結果となりました。図表やグラフなどから、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに弱さが見られました。ただ、無回答率は0%であったことから、何とか問題に向かおうという意欲は見られます。

- ・「思考力・判断力・表現力等」の中で、（C 読むこと）は、69・1%の正答率（問題数3）で、全国（71・24%）三重県（70・8%）より若干低い結果となりました。文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを条件に沿ってまとめることに弱さが見られます。

《算数科》 羽津北小 59%（全国 62.5%・三重県 62%）

○強み

- ・「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために表の中の適切な数の組を用いることができる」ことを問う問題は、91・6%の正答率で、比例の考え方が理解できていることが分かります。
- ・「正方形の意味や性質」について89・2%の正答率でした。図形の性質についての理解ができていていることが分かります。
- ・「全部の椅子の数を求めるための 50×40 」の計算は、84・3%の正答率でした。計算力が身に付いていることが分かります。

▲弱み

- ・「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」のすべての項目で、全国・三重県の正答率を下回る結果となりました。特に、「データの活用」において、全国 66.5%・三重県 64.9%のところを本校では 59.0%と大きな差が見られます。2次元の表から条件に合う数を読み取ることが苦手であることが分かります。
- ・「思考・判断・表現」においては、全国 56.5%・三重県 55.0%のところを本校では 52.2%と差が見られます。「求め方を式や言葉を使って書きましよう」（本校正答率 53.0%）、「選んだわけを言葉や数を使って書きましよう」（8.4%）、「求め方を式や言葉を使って書きましよう」（55.4%）、「3つの言葉と数を使って書きましよう」（49.4%）というように、単なる計算ではなく、言葉や数、式を使って求め方や理由を説明する力が弱いことが分かります。

【児童・生徒質問紙からみられる特徴（学習、生活の状況に関して）】

- ・「朝食を毎日食べていますか」は 79.5%であり、全国・三重県より低い結果となりました。1学期に取った朝食のアンケートを見ると、朝食の中身についても気になるところがあります。菓子パンや乳製品だけで済ませている児童が多く見られ、成長期に差し掛かる児童の成長が心配されます。3大栄養素をしっかりとれるような朝食について考える授業を、栄養教諭を中心に2学期に行う予定です。

- ・「自分には良いところがあると思いますか」は47.0%であり、全国・三重県より高い結果でした。また、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていますか」も53.0%と高く、これらの結果より、自己肯定感が高く、その背景には、学校で認められているという自信・安心感につながっていると考えられると思います。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」は、65.1%と全国・三重県より高く、学校生活に満足していることが分かります。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」が88.0%と高くいじめは許さないという意識、また「人が困っているときは進んで助けていますか」も48.2%と高く、学校の中で助けたり助けられたりしていこうという思いがあることが、安心して通学できるという思いにつながっていると考えられます。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」は20.5%と低い結果となりました。本校の児童の特徴と考えている「言われたことはまじめに取り組むが、自主的に行動することが苦手」という児童の姿と合致します。今後も引き続き「自ら考え、行動する力」を養っていきたいと思います。（本年度、学校教育目標は「自ら学び、共に生きる子どもの育成」、学年目標は「『考動』～考え、動く～」としています）
- ・「読書は好きですか」は「当てはまる」が28.9%と全国・三重県より低い結果でした。「どちらかといえば、当てはまる」41.0%と合わせると、差（本校69.9%・三重県70.1%・全国71.8%）は少しですが、今回の学力調査で分かった読解力の弱さ・書いて説明する力を身に付けるには、読書に親しむことも一つの方法であることから、読書をする習慣を身に付けていく取り組みを進めていきます。

【学校質問紙からみた学校の特徴（県や全国との比較）】

学校質問紙の結果から、本校の特徴として以下のことを確認することができました。

- ・前年度までに習得させたことを生かした指導体制の確立に関する設問の結果から、教職員が児童の実態に合わせて学習内容を精査し、PDCAサイクルに合わせて指導していることが確認できました。
- ・児童に対する指導は、指導者側から一方的でなく、対話を通して児童が主体的に取り組める指導をしていることが分かりました。また、昨年度「特別の教科 道徳」を研修の中心に置き、教職員が授業についての研修を深め、児童に主体的・対話的な学びに取り組ませたり道徳科で大切にされるべき価値観について、大切に取り組んできたりしたことの成果を確認することができました。

- 様々な指導は学校内に留まらず、羽津地区の中学校や小学校、保育園、幼稚園と連携し、児童生徒に対して共通課題を持って指導していることを確認することができました。
- 学校は児童・保護者・地域に対して学校の取り組みと成果や課題を公表して共有し、それぞれの意見を尊重しながら学習内容や行事の取り組みの改善に生かしていることが分かりました。またそのために、学校行事や登下校等への保護者・地域の方々の協力が非常に大きいことが伺えます。しかし、コロナ禍で行事などが制限されていたため、協力が得られにくい状況も見られました。
- ICTの機器を児童に使わせ、授業等にも使用しているものの、児童の使用の仕方を限定している部分もあり、児童の発表や児童間の対話等の活動にさらに活用を進めることが課題であることが確認できました。

～おわりに～

今年度の学力調査では、国語については全国・三重県平均とほぼ同じ正答率でしたが、算数科については全国・三重県平均を共に下回る結果となりました。漢字の習得や単純な計算、知識を問う問題については力が付いていますが、自分の考えや求め方を文章で表すことについて、国語・算数共に課題が見られます。

今年度、各教科において毎時間、その時間に自分が学んだこと、わかったこと、できるようになったことなどを文章で書いて自らの学びを振り返ることに重点を置いて取り組んでいます。この取り組みは、「主体的に学習に取り組む態度」の観点のひとつ「自らの学習を調整する力」をつけることにもつながると思います。

羽津北小学校では、今年度も「自ら学び、共に生きる子どもの育成」を学校教育目標とし、児童の主体性を大切に、子どもが自ら「学びたい!」「やってみたい!」という思いをもって学習に取り組むことができる授業作りを進めています。このことを大切にしながら、明確になった課題を解決する取り組みを進め、子どもたちに確かな学力をつけていきたいと思えます。

学校と家庭・地域との連携が子どもたちの学習に良い影響を与えることも改めて確認できましたので、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。